

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第23回)

娘のiPhone X動画投稿で解雇。その顛末

2017.12.15

アップルから最初のiPhoneが発売されて10周年。2017年9月12日(現地時間)、アップルのスペシャルイベントで「iPhone X(アイフォン・テン)」が発表された。全面ディスプレイ、裏面にガラスパネルを採用した特別デザイン、画期的な顔認証、ホームボタンの廃止など、アップルが開発した中で最も高度なテクノロジーを盛り込んだ。発表以来、大きな話題を呼んでいる。

iPhone Xの発売をみんなが心待ちにする10月21日、未発売のiPhone Xを手にする動画がYouTubeに公開された。実はこの動画、アップルのエンジニアの娘が投稿した。アップルの社員食堂で撮影され、iPhoneは父親が持つ検証用の実機と思われる。動画はすぐ削除されたものの、世界中に拡散してしまった。

アップルはこの父親を解雇したが、iPhone Xに対するみんなの期待に応えようとする娘、家族の思い出として撮影を許した父の立場など、スマホ+ネットで何でもすぐに世界中に知らせられるインターネット時代の世相と教訓がうかがえる事件だ。

なかなか買えないiPhone X

9月のスペシャルイベントでは、通常のラインアップのiPhone 8/8 Plusの発表とともに、最後に発表された。「デバイスそのものがディスプレイ」と紹介されたように、iPhone Xは、ほぼ全面を覆う5.8インチの有機ELディスプレイを搭載する。裏面はガラスパネルを採用、ワイヤレス充電規格のQiに対応した。それまでiPhoneに搭載されてきたホームボタンは廃止され、スクリーン下部に常にホームインジケータを表示。ホームインジケータを上へスワイプしてホームに戻るといふ、他のiPhoneとは異なる操作体系だ。



アップルのiPhone Xの紹介ページ

また、従来のTouch ID(指紋認証)に代わり、3次元顔認識を用いた革命的な認証システム「Face ID」(顔認証)が採用された。これは新たに搭載されたTrueDepthカメラにより実現する。カメラも、背面レンズの広角側と望遠側の両方に手振れ補正機構が付いた。この「特別な」iPhone、64GBで11万2800円、256GBで12万9800円(いずれも税別、Apple Storeでの価格)と、値段も特別なものにもかかわらず、11月3日の発売には当日在庫目当ての行列ができた。

今回のiPhone Xは発売以来、需要に供給が追いつかない状態が続いた。執筆現在、まだ品不足が続く。ちなみに、アップルのオンラインストアでの待ちは1~2週間程度と、かなり改善はされてきている。

ところで、iPhoneの通常のラインアップは、3G→3GS→4→4S→5→5s→6/6 Plus→6s/6s Plus→7/7 Plusと「S」の付くマイナーバージョンを経て、1つずつ数字を上げてきた。だが今回、通常ラインアップは7Sを飛び越して8となった。Xと同じく背面をガラスパネルにすることでワイヤレス充電に対応、「8」を名乗ったのは背面パネルの変更ということからだと思われるが、次は「8S」なのか「9」なのか、そして「X」があることでその次はどうなるかなど、興味は尽きない。

娘が投稿したのはどんな動画だったか… 続きを読む